

向東小学校だより

尾道市立向東小学校
平成30年1月31日(水)
発行責任者 石原政信

防災フェア in 向東

平成30年1月21日(日)に向東公民館において、「防災フェアin向東」が開催されました。向東公民館は、今年度、「公民館活性化モデル事業」の指定を受けて活動を推進されています。その活動の一環として、開催された本会に本校の児童44名がスタッフとして活躍しました。当日は総勢201名が会場に集まり、「防災グッズ展示と説明」「負傷応急処置の方法」「防災クイズ大会」「防災マップづくり」「段ボールで簡易トイレづくり」「炊き出し体験」が各ブースで開催されました。

防災教育は、その必要性は認識されていながらも、中核となる「担い手」が不足していたり、受け身の知識のみで留まっている状況が多々あります。今回、いつもは受け身の参加が多い子供達が運営側になる体験を通して、必要性を訴える立場に立てたことは、学びを自らのこととして実感することができる貴重な機会となりました。向東全体の各種団体が一丸となって、連携することは、いざという時、「災害に強い町」を作るためにも大きな役割を果たすと考えられます。午後から行われた被災者講演では、柿本和彦議員が講演をされました。実体験を踏まえたお話は、明日からの行動を変える説得力がありました。一人でも多くの方々に聞いていただきたい貴重なお話でした。地域全体で、防災の視点を点から線に、そして面へと広げる必要性を感じさせられる会でした。

私達が引き継ぎます。

前期児童会役員選挙が行われました。5年生、12名が立候補し、6名の児童会役員を決定します。それぞれの立候補者には応援演説者が1名付き、公約を演説しました。今年度の児童会役員は選挙の時に、演説した公約を確実に実行するよう、新しいアイデアを試みてくれました。例えば、「ハッピーツリー」の取組。自分が発見した友達の良い所、ステキな行動を小さなカードに記して、貼り付けていく活動です。また、休憩時間には、「カーブおにご」や「全校ドッチボール」など、全校で遊ぶ企画を実行するなど、言動一致の頼もしい児童会役員でした。現在の5年生は、先輩の取組に触発され、「我こそは！」と立候補しました。活気ある学校は子どもたちの自発的な発案が創ります。新5年生には、卒業生が創り上げた風土を継承、発展してもらいたいと思います。



感謝!

向東区長会及びPTA執行部の方々が、体育館と南館の間の駐車場の整備をしてくださいました。当日は、寒波の到来で寒さが厳しかったのですが、多くの方々の力により、凹凸の土地を真砂土を加えて平らに整地してくださいました。心から感謝致します。ありがとうございました。

